

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 うっかり長屋きなはいや

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

宮崎 初代

評価完了日

平成 19 年 5 月 19 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年6月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3873800415		
法人名	有限会社ラッセル社		
事業所名	うっかり長屋 きなはいや		
所在地	西予市野村町野村 1 1 - 1 (電話) 0894-72-1371		
管理者	宮崎 初代		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目 5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月2日	評価確定日	平成19年6月13日

【情報提供票より】 (平成19年5月19日 事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年3月24日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	3人, 非常勤 6人, 常勤換算 7.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	12,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			
(3)利用者の概要 (平成19年5月19日現在)			
利用者人数	7 名	男性 2 名	女性 5 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名
要介護3	3 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 76 歳	最高 93 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	あり・(なし)	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>玄関の段差は、外と内との境を明確に利用者のこれまでの習慣等に配慮した造りとなっている。 事業所内は静かな雰囲気、職員は利用者の行動を待って支援する姿勢を保ち、利用者のペースを守り、ゆっくりとした時間が流れていた。 現在、介護を受けている方を講師に招き、職員研修を行ってられる。職員は、「介護を受ける立場の気持ちがよく理解できた」と話しておられた。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、災害時の訓練として消防署の協力を得て、消火器の使い方等を職員とともに学ばれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・今回の自己評価作成については、管理者が作成し、職員が確認された。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議出席者は、同じ顔ぶれで開催されている。個人情報保護の許可を得て、利用者の状態等の報告を行なっている。出席者からの意見や発言は少な目である。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・ご家族は、毎月の利用料納付時に訪問していただけるようになっており、その折に、ご本人の日頃の暮らしぶりについて報告をされている。また、状態によっては電話連絡もされている。事業所便りをご家族宛に発行し、お出かけや事業所の取り組みを知らせておられる。現在は、ご家族からの意見は少な目である。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域の行事等に参加されている。近所の方が野菜を届けてくれ、お茶を一緒に飲みながらおしゃべりをして帰られるようなこともある。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			その人らしく暮らせる支援を心がけている。束縛、強制のない行動の支援をいつも心がけたい。		
			(外部評価)		
			事業所の理念「呆けても自分らしく生きられる」ということを大切に支援がなされており、地域の中で利用者が生活していくこととつなげて考えておられる。		事業所では、今後さらに地域の中に溶け込んだホームを目指しておられる。ホームの目指すこととして地域との関係性を深めていけるような理念作り等も期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			呆けても自分らしく生きられるよう、心がけて支援を行ってはいるが、他者との関係にも気にかかる時がある		
			(外部評価)		
			管理者は、毎月の職員会議時、日々のケアについて理念に沿いお話をされたり、職員からの質問や相談についても理念に沿ったアドバイスをされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			散歩、買い物など地域の方と関わりがもてるよう努めている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) あいさつ、立ち話、日々自然に行われている行動を大切にしている		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 会合の参加は行っていないが、地域行事は気にかけている (外部評価) 地域の行事等に参加されている。近所の方が野菜を届けてくれ、お茶を一緒に飲みながらおしゃべりをして帰られるようなこともある。		会合の参加ができないか検討していく さらに、地域の方達との「つきあい」を深めていくための取り組みが期待される。地域のニーズ等、求められること等を探り、さらに地域の中の公的事業所として根ざしていけることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 質問、相談には応じているが、取り組みとしては行っていない		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 注意事項、気にかかることは話し合っている (外部評価) 今回の自己評価作成については、管理者が作成し、職員が確認された。前回の評価結果を受けて災害時の訓練として消防署の協力を得て消火器の使い方等を職員とともに学ばれた。		自己評価・外部評価・家族評価等、サービス評価の仕組みを活用して、事業所のさらなる質向上を目指していけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	(自己評価)		
			気になること、気にかかることなど、参考意見が聞け 地域の方に浸透していけるよう心がけたい		
			(外部評価)		
			会議出席者は、同じ顔ぶれで開催されている。個人情報 保護の許可を得て、利用者の状態等の報告を行なっ ている。出席者からの意見や発言は少な目である。		さらに、いろいろな立場から意見を出していただける ような働きかけの工夫が期待される。事業所の意義や 役割を理解していただけるような報告や地域のニーズ 等を探る等の取り組み、協力体制を確保できるような 話し合い等、会議をさらに活かす取り組み等も期待さ れる。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			市からの訪問があり、感想、意見を述べて頂いている		
			(外部評価)		
			市が開催する年数回の連絡会に出席をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			必要な方がいないため、行えていない		見聞に努める
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			言葉の虐待も気をつけている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約を結ぶ時点で、説明を行っている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気になることは本人が言っているが、外部へ表す機会として市からの訪問時行って頂き、参考にしている		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 訪問時、口頭で伝えている。 必ず、月、最低1回の家族の訪問は確保できている		
			(外部評価) ご家族は、毎月の利用料納付時に訪問していただけるようになっており、その折に、ご本人の日頃の暮らしぶりについて報告をされている。また、状態によっては電話連絡もされている。事業所便りをご家族宛に発行し、お出かけや事業所の取り組みを知らせておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 訪問時の報告で、気になる事は職員会議時に伝え、職員は気にかけ行動している		
			(外部評価) 現在は、ご家族からの意見は少な目である。		今後、事業所では、利用者の重度化のことも見越して、ご家族との話し合いの場を設けたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 必要時には、職員の増員も行っている		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要時、増員、勤務時間の延長も協力を得ている		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 事業所としての移動は少ない。離職は、無理を言えないためしかたないが、それが利用者へのダメージにはつながっていない		
			(外部評価) 職員同士、何でも相談できる雰囲気が作られており、管理者は職員の「いいところ」を見つけ伸ばしていこうと努めておられた。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部からの講演を依頼したり、参考資料を置き、いつでも見ることができるようにしている		
			(外部評価) 介護を受けている立場の方を講師に招き、事業所内で職員研修を行っておられた。「介護される方の気持ち」をさらに理解し、日々の支援につなげていけるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)		
			取り組みとして行っていないが、市の会合は参加している		近所での同業者間の関わりをもてるようにしたい
			(外部評価)		
			地域の同業者の職員同士のつながり等がある。		さらに、事業所では、少人数で事例を持ち寄り検討するような機会等も作りたいと考えられている。さらに地域のネットワークを構築され、事業所の質向上につなげていかれることが期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			負担軽減の為の増員や、希望休は休めるように勤務を組んでいる		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			希望を聞き、可能なことは協力している		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			関わりをもち、気付きを深める努力をしている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時によく聴き、支援の方向を話し合っている		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 可能な限り、支援することを伝えている		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) すぐに馴染みにくい方は、ためし利用もできる (外部評価) 協力医療機関に入院されていた方が入居することが多い。入居前には、可能な限りご本人に事業所を見てもらうようにされている。入居後、職員は信頼関係作り心がけて細やかにかかわるようにされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) してあげる介護になっている時がある (外部評価) 職員は、調理時、利用者に食材のことや味付けについて聞かれたりされている。利用者からの意思表示や利用者同士がかかわるような場面は少なめである。		本人の参加できることを作り、一緒に参加する機会を作る 「共に支えあう関係」という点から、「利用者と職員」「利用者同士」等、共同生活のよさをさらに活かした支援が期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 気になること、気にかかることは相談しながら行っている		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 必ず月に1回の訪問が可能な様に支援している		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人、家族の訪問が時々ある		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) ソファや食事の座る位置を気にかけて、一人のならない様、職員が関わりをもつよう努めている		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 事項の挨拶、連絡など時折行っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			あまり強く要求される方は少ない		馴染の関係をもち、意向に気付けるよう努める
			(外部評価)		
			日誌や日々の介護記録、職員の気付き等、利用者個々の情報がケアマネージャに集められ蓄積されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			入居時、家族の訪問時などに情報を得ているが、馴染の暮らしにはまだまだできていない		以前の暮らしに近付ける様、把握に努める
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			それぞれの有する力を活用できる状態に誘導できていない		できること、参加できる状態を構築する
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			家族の訪問時話し合ったり、スタッフ会議で話し合ったりして作成作成している		ケアマネにまかせっきりのことが多い
			(外部評価)		
			ご本人、職員、病院からの意見、ご家族の意見が介護計画に反映されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			必要時、計画の変更を行っている		
			(外部評価)		
			3ヶ月に一回の見直しとなっている。利用者の退院時には、医師からの注意事項やご家族のご意向等を踏まえて、状態に合わせた見直しがされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			出来事に対する対応の記録を気にかけている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			多機能の理解力にかける		多機能性を理解する
			(外部評価)		
			男性の利用者の方の散髪に同行されている。外出の希望があるような場合には、職員を増員して対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 防災訓練を消防署に依頼した		受け入れをしたいが、活用は少ない
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 関わりが少ない		情報の交換、交流を作っていく
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 情報の提供が少なく、運営推進会議位しか関わりがない		情報の交換、交流を作っていく
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 個人のかかりつけ医へ、受診している (外部評価) もともと協力医療機関を受診されていた方の入居が多く、入居後も継続して受診されている。24時間相談が可能で対応もしてくれるようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要な時は受診し、相談、治療を受けている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) スタッフの中に看護職員があり、対応方法の指示を受けている		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者の状態により早期退院をお願いし、通院での対応が可能になれば、退院し通院での対応を行っている		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 医療行為が常時必要となれば入院となるが、通院、往診で可能な場合はホームでの介助を行う事をスタッフが共有できている		
			(外部評価) 事業所では、あえて医療連携加算を取らず、利用者の状態が変化したような場合は随時、ご家族と相談をされて方向を決めておられる。		事業所では、今後重度化を見越して、浴室のリフトの設置やベッド等についても改善を検討されていた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 家族、かかりつけ医との話し合いで、入院、通院を見極め、必要時は支援している		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 必要な医療時はしかたのないことだが、住み替えによるダメージがあれば他の方法を探し、早期退院を要請している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 自分に置き換え、対応方法を考え、会議などでも検討を諮る		
			(外部評価) 利用者の行動を待って職員が支援をされていた。職員が、利用者の居室に入室する際には、ノックをして声をかけてから入室しておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 言葉賭け、誘導に気をつける		関わりによる気付きで一緒に行えることを、さりげなく支援、誘導し強制しないよう心がける
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 他の入居者に対する関わりもあり、都合で誘導している時も見受けられる		可能な限りの支援は行うが、共同生活も考えなければならない
			(外部評価) 起床の時間や食事を摂るペースについても個々の状態に合わせて、ゆったりと見守っておられた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 家族の協力によりでかけたり、職員が行ったり、美容院へ出かけたりしている		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 限られた方が行い、お客さんになっている (外部評価) 利用者の中でお一人の方は、食事作りに自主的に参加されていたが、レベルの低下のこともあり、他の利用者が食事作りに参加することは少な目である。		できる事の気付きにより、一緒に行えるよう誘導していく 事業所では、介護用のエプロンをしなくてもすむような方法についても試行錯誤されている。食事作りについて利用者が無理なくかかわるような支援、又、食事時の姿勢等、この機会に「おいしい食事をさらに楽しむ」ための支援について職員でアイデアを出し合い、話し合ってみる機会とされてはどうか。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 時に応じ支援している		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排尿チェック表により、誘導、介助が行えている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			勤務時間の関係と体調を考え、食事前に行っている		食後の入浴希望者がいる場合は、勤務時間の変更も必要となる
			(外部評価)		
			利用者の入浴時には非常勤職員を増員する等、職員が個々と会話しながらゆっくり支援できるような体制が作られている。入浴への声かけ等も工夫がなされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			寝つきの悪い方はお酒を飲んだり、夕飯前の散歩に行ったりしている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			限られた方が行う事が多いが、皆での外出、ドライブは楽しみ、気晴らしとなっている		役割としての行動が行えるよう、支援していくことができることは何か気付く
			(外部評価)		
			男性の利用者は、家長の役目で、女性の利用者は、洗濯物を畳んだり食器拭きをされている。室内犬と遊んでおられる利用者もおられた。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			限られた方だけになっている		ほしいものを買うことから始めてみる

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			要求のある時、要求者の希望に沿える様支援している		
			(外部評価)		
			喫茶店へ出かけた、今後、夜間にほたる祭りに出かける予定等もある。現在は、身体レベルの低下のこともあり、車での外出が多い。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			可能な限り、行っている		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			必要時は行っているが、希望者は少ない		場面作りの工夫をする
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			特別な工夫はしていない		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 心がけているが、転倒、身体的に悪化しての介助の為にどうしても行わないと入居者に負担のかかるときは家族と相談、承諾を得ている		承諾書の必要性が気にかかる
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 心がけている。 かけることの方が安心だと思っているスタッフもいる (外部評価) 事業所では、オープンケアに努めておられ、鍵をかけることなく自由な暮らしができるよう心がけておられる。居室の入り口にベルを付けて、居室の出入りが職員にわかるよう工夫等もなされていた。		鍵をかけることの弊害の理解がスタッフ間で徹底できていない
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 心がけているが不意の行動に対応できていないときがある		常に意識し、所在を把握する
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 行動にあわせ行っているが、他の方が見ると寂しく見えるようで、調査のとき部屋を見られた方の感想にあった		訪問調査の為の介護は行いたくない 利用者への気付きを深める
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 消防による指導は受けたが、思わぬ行動に対応が遅れる		急な対応ができるよう、対応方法を学ぶ機会を増やしていく

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではないが、必要に応じ行っている 急な対応に応じられるだけの訓練はできていない		急な対応にも応じられるだけの訓練を、定期的に行う
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防による指導は受けているがとっさ時の誘導に不安がある (外部評価) 事業所内で避難時の誘導等の訓練を行っておられる。災害時には、事業所に近い職員がいち早く駆けつけることとなっている。		近所への協力や、誘導の練習など協力を得られるよう近所への日々の関わりを持つ 今後は、夜間時の避難訓練や近所との協力体制等をすすめていくことを考えておられた。さらなる利用者、ご家族の安心のための体制作りが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 気がついたことを訪問時伝えている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックを行い、変化に注意し、医療機関への誘導を行っている		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員がすべては理解できていない		目的、用法、用量などが確認できるようスタッフの目に付くところへ提示する
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 常に気にかけているが、どうしてもだめな時は服薬もある		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後に誘導して歯磨き、うがいを行っている		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分を摂取の為の誘導、食事量、バランスのチェックを気にかけている (外部評価) 季節の野菜や繊維質のものをふんだんに使い、品数豊富なメニューとなっている。水分摂取については、三度の食事時とおやつ時等に摂取されており、排泄記録等でもチェックされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 入居者は外出時の手洗い、うがい、食事前の手洗いをやっているが、スタッフの通勤後のうがいなどは徹底できていない		スタッフからの感染、通院による感染が多いと思われるので、外からの感染を防ぐ為、手洗い、うがいの徹底をする

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>布巾、まな板、包丁などいつも使うものは、殺菌消毒を毎日行っている</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>転倒防止のフェンスや花を植え、やさしい雰囲気を作っている</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>季節により、場所の移動をしてみたり、季節の花を飾ったり心地良く過ごせる様工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>自然の風を採り入れ、換気がなされている。玄関の段差をあえて作り、外と内を明確にする等、利用者のこれまでの暮らしの習慣を大切にされている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファーに座ったり、畳、椅子で過ごしたり、思い思いに過ごしている</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			家族が運んで来られるが、家具などは使い慣れたものとは言えないかもしれない		家からの持ち出しは無理を言えないこともある
			(外部評価)		
			利用者それぞれの症状や状態を踏まえた居室のしつらえとなっている。寝具、カレンダーやテーブルハンガー、カーテン等それぞれに違いが見られた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			気温、湿度など気にかけて行っている		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			必要に応じ、手すり、福祉機器などを準備している		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			自立に向けての支援は行っているが、わかる力への気付が見極めできていないかもしれない		関わりを深め、わかる力に気付く
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやペランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			日向ぼっこをしたり、おやつを食べたり、水やりに出たりしている		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3利用者の1/3くらい 4ほとんど掴んでいない	完全ではない。思い通りにできない時がある。(安全、本人の行動が優先)
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ③たまにある 4ほとんどない	心がけてはいるが、業務に終われている時もある。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3利用者の1/3くらい 4ほとんどいない	自我を強調する方が少ないため、全員ではない。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者の2/3くらい 3利用者の1/3くらい 4ほとんどいない	関わりを持ち支援を行なっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらい 3利用者の1/3くらい 4ほとんどいない	ここに行きたいという場所はあまり言われないが、話の中で出てきた所や行事がある時は、皆で出かけたりして思い出話をしている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者の2/3くらい 3利用者の1/3くらい 4ほとんどいない	かかりつけ医院が近いので、定期的に通院したり、急に状態が変化があった時は受診している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2利用者の2/3くらい 3利用者の1/3くらい 4ほとんどいない	そうあるように支援を行なっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらい 3家族の1/3くらい 4ほとんどできていない	訪問時気になることなどを話している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4ほとんどない	野菜を届けてくれたり、様子を気にかけて訪問がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 評価) ②少しずつ増えている 3あまり増えていない 4全くいない	少しずつ理解を得てきている。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 評価) ①ほぼ全ての職員が 2職員の2/3くらいが 3職員の1/3くらいが 4ほとんどいない	身体的に悪い方が多い為、スタッフの活躍が頼もしい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 評価) ②利用者の2/3くらいが 3利用者の1/3くらいが 4ほとんどいない	強制しないことを心がけ支援しているが、入居者の方は遠慮もあるのではないかと。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 評価) ②家族等の2/3くらいが 3家族等の1/3くらいが 4ほとんどできていない	仕事なのでと伝えるが、気を遣われる方も多い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

呆けても自分らしく生きられるを理念に、自分らしい行動の支援、強制のない対応を行い、自分の家族や、自分が将来生活しても良いと思える所にすることを気にかけて行動している。
自分の家ではないけど、家に近い居場所でのんびり、ゆっくり皆一緒に楽しんで生活し、家に帰り生活したいという思いをかなえられるよう支援していく。